

## 1. 育成のねらい

チューリップの花型には一重咲きのほか、八重咲き、ユリ咲き、フリンジ咲きなどがあり、県育成チューリップの花型のバリエーションを増やすため、珍しい花型となる「八重かつフリンジ咲き」品種を育成する。

## 2. 育成経過

平成8年：交配



平成13年：初開花、初選抜



平成25～26年：育成系統選抜試験  
系統名付与「砺波育成137号」



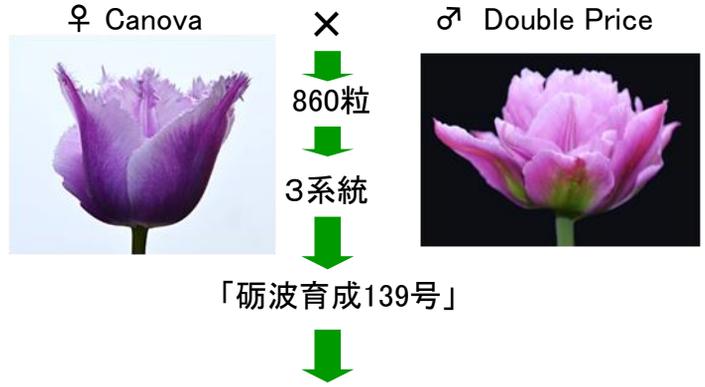
平成27～29年：系統特性検定試験



平成30年5月：チューリップ新品種命名検討委員会 命名「乙女のドレス」



平成30年7月：品種登録出願



## 3. 品種の特徴

- ・希少な花型である八重かつフリンジ咲き
- ・希少な花色である淡い藤色

(露地開花特性)

- ・露地での開花期は4月下旬で、  
観賞期間は12日程度

(球根収量性)

- ・球根収穫期は6月中旬  
主球の肥大性は「中」、分球性は「小」、  
収量性は「中」

(耐病性)

- ・土壌伝染性病害抵抗性は、  
微斑モザイク病「弱」、条斑病「中」、  
球根腐敗病「極強」

(促成適応性)

- ・12月～3月出荷(促成栽培)が可能で、  
切り花生産に適している



## 4. 今後の予定

平成30年から県内生産者のほ場で原種増殖が開始され、令和2年に県球根組合を通じて生産者へ原種供給、令和3年収穫の球根より販売を開始